

1. 科目名 (単位数)	臨床心理査定演習Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	PSMP5190
2. 授業担当教員	大島 朗生		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態 (通信教育)	
7. 講義概要	<p>臨床心理査定演習Ⅱでは、臨床心理査定演習Ⅰに引き続き、心理査定の知識と技術の基礎の習得を目的とする。臨床心理査定演習Ⅱでは、特に投影法と呼ばれる心理検査を中心に心理査定の技術を習得する。心理査定としては、1. ロールシャッハテスト、2. SCT、3. バウムテスト、4. HTP、5. 風景構成法 という 5種類を取り上げる予定でいる。</p> <p>心理検査法の基礎的な事項 (理論や施行法) を身に付けるために演習を重視する。それぞれの検査について、1. 理論的背景、2. 実施方法、3. 結果の整理方法、4. 解釈方法、5. 利用上の注意点、6. 適応範囲と限界などを理解し、可能であれば実際にテスターとして施行できるようになることを目的とする。</p> <p>授業の進め方としては、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 担当箇所をレジュメにまとめて、プレゼンテーションを行う。 2. 心理検査の事例等に関して、グループディスカッションを行う 3. 実施した心理検査に関して、レポートを提出する <p>といった方法で、各検査法の特徴と臨床現場での使用の仕方を体験的に学ぶ。</p> <p>また、時間がゆるせば、1. テストバッテリーの組み方、2. 記録の取り方、3. 結果の報告やフィードバックの仕方 などについても検討する。</p>		
8. 学習目標	<p>心理査定法の中でも、特に心理検査法に焦点をあてる。演習を行うことによって、心理査定を施行する際の基礎的な技術を習得することを目指す。</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>担当になった心理検査に関しては、心理検査の手引きなどを熟読し、実際に皆の前で施行できるように準備してくること。</p> <p>代表的な心理検査について、基礎的な知識が身についていることを確認するためのレポート課題を課す。レポート課題は1回程度課す予定でいる。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 特に指定しない</p> <p>【参考書】 上里一郎 編 『心理アセスメントハンドブック 第2版』 西村書店 2001 松原達哉 編 『臨床心理アセスメント 新訂版』 丸善出版 2013 松原達哉・福島脩美 編 『カウンセリング心理学ハンドブック (下巻)』 金子書房 2011 氏原寛・亀口憲治・馬場禮子 他 『心理査定実践ハンドブック』 創元社 2006</p> <p>※必要に応じて適宜資料を配布するが、参考書として挙げた書籍の中から最低 1冊は購入し、手元に置いて、必要に応じて参照するという習慣を身に付けてもらいたい。</p> <p>※心理検査に関しては、実習を伴うために別途実費 (検査用紙代等) が必要になる。</p> <p>取り扱う心理検査の委細に関しては、開講時に改めて説明する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 投影法の概要について説明できる 投影法の結果を読み取ることができる</p> <p>○評定の方法 授業態度・授業への参加度 70% 心理査定に関するレポート 30%</p> <p>特に授業態度・授業への参加度を重視する</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>心理検査に関する知識があるということは、心理臨床家にとって極めて重要な素養だと考えている。実際のところ、心理検査は「習うより慣れる」という要素が強い。初心者は、まず「手引きに書かれたように施行できること (真似ること)」が重要な学びになると考える。手引きや解説書を熟読して、積極的に学んでほしい。心理検査の実習を通じて、自分自身を再発見することを期待している。</p>		
13. オフィスアワー	<p>授業開講時に周知する。</p>		
14. 学習の展開及び内容	<p>【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】</p>		
1～7. テーマ	<p>心理検査各論Ⅵ 投影法 (ロールシャッハテスト)</p>		
	<p>【学習の目標】 ロールシャッハテストについて理解する。 【学習の内容】 ロールシャッハテストを体験する。 【キーワード】 スコアリングシステム、片口式、エクスナー法 【学習の課題】 ロールシャッハテストの施行方法や採点の手順について理解する。 【参考文献】 『カウンセリング心理学ハンドブック (下巻)』 pp.107-110</p>		
8～9. テーマ	<p>心理検査各論Ⅶ 投影法 (SCT)</p>		
	<p>【学習の目標】 SCTについて理解する。 【学習の内容】 SCTを体験する。 【キーワード】 投影水準、テストバッテリー、テストフィードバック 【学習の課題】 SCTの施行手続き等について理解する。 【参考文献】 『心理査定実践ハンドブック』 pp.231-235</p>		

10～11.テーマ	心理検査各論Ⅷ 描画法（バウムテスト）
【学習の目標】	バウムテストについて理解する。
【学習の内容】	バウムテストを体験する。
【キーワード】	描画法、バウムテストの解釈、自己像
【学習の課題】	バウムテストの施行手続き等について理解する。
【参考文献】	『心理査定実践ハンドブック』 pp.302-306
12～13.テーマ	心理検査各論Ⅸ 描画法（HTP）
【学習の目標】	HTPについて理解する。
【学習の内容】	統合的 HTP 法を体験する。
【キーワード】	描画法、HTP 法、統合的 HTP 法
【学習の課題】	統合的 HTP 法の施行手続き等について理解する。
【参考文献】	『心理査定実践ハンドブック』 pp.312-316
14～15.テーマ	心理検査各論Ⅹ 描画法（風景構成法）
【学習の目標】	風景構成法について理解する。
【学習の内容】	風景構成法を体験する。
【キーワード】	描画法、枠付け法、箱庭療法
【学習の課題】	風景構成法の施行手続き等について理解する。
【参考文献】	『心理査定実践ハンドブック』 pp.317-325